

株式会社 豊三精機工業所

ポンプ用部品など様々な ステンレス加工に強み

納期相談
コスト相談
メイン・ジャパン
試作可
小ロット



マシニングセンタによる切削加工

主な事業内容

ステンレスを中心とした金属の
切削、溶接、板金、研磨加工など

主な取引先(納入先)

食品・医薬品・化学などに
使用される産業用機械メーカー

主な製品

ポンプ部品、全ステンレス製台車、
原動機カバー

業務内容 食品・医薬品・化学など 産業用機械向けが主軸

豊三精機工業所は、ステンレスを中心とした金属加工メーカー。切削、溶接、板金、研磨、さらにはパイプ曲げ加工に至るまで、多彩な加工技術で得意先の要望に応えている。特に得意としているのは、食品・医薬品・化学などの産業用機械で使われるポンプ用部品だ。

また、試作品やオーダーメイド品、既存品への改造などにも、培ってきた技術と新たな発想を駆使して柔軟に対応している。

同社は、金属加工業者として昭和42年に創業した。社名は創業者であり、現在の会長である片田豊三氏の名前から取っている。

強み 多彩な加工技術を生かし 高品質製品を安定供給

食品や医薬品関連の製品は、為替変動などの影響を受けにくい。そのため、比較的安定した受注が見込めることは、同社の強みと言えるだろう。

加工が難しい素材であるステンレスへの多彩な加工技術を持っているのは、「新たなニーズがあれば、設備と技術を用意してそれに応える。そうした技術者

としての、創業者のチャレンジ精神が生かされている」と井之上秀人社長は言う。その信念のもと、長らく培われた多彩な加工技術。それらを生かすことで、得意先の要望に応じてステンレスをワンストップで加工でき、高い品質の製品を安定して供給できる。その体制への得意先の評価は高い。

人材育成 手作業による技術を より一層磨く

汎用・NC(数値制御)旋盤、マシニングセンタなど、設備の種類も豊富だ。これらを使い分けることで、複雑な形状の部品も100分の1mmの精度を保てるという。令和2年には中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用して自動パイプベンダーを導入するなど、設備の自動化も進めている。

ただし、職人の手作業が必要な加工作業も多い。特に食品・飲料や医薬品の製造装置は、異物の混入などが許されない。部品の製造には高度な職人技が求められるため、手作業による技術を磨く必要がある。今後はより一層、OJTを通じて人材育成に力を入れていく。片田豊三という職人が起こした同社の伝統の技を「匠」たちの手で脈々と受け継いでいく。

社長あいさつ



代表取締役
井之上 秀人さん

私は創業者である現会長とともに、20年以上にわたって「社会に役立つ会社」をめざしてものづくりに努めてきました。令和3年、その経営理念とともに、会社経営を引き継ぎました。今後もさらなる会社発展のため、技術開発や販路拡大に挑戦をしていきます。

主な保有設備

- マシニングセンタ MILLAC44V
(移動量 560×410×410mm)
オークマ製 1台
- マシニングセンタ TMC-40V
(移動量 1,016×45×500mm)
コマツNTC製 1台
- NC旋盤 GENOS L250
(移動量 X160mm・Z330mm)
オークマ製 1台
- 汎用旋盤 MS-850(芯間長さ 850mm)
DMG森精機製 1台
- パイプベンダーTB-DR-1 HANC-RB型
(最大外径 42.7mm×肉厚 13.5) 太平洋製 1台

大阪
03

住 所 / 〒572-0817
寝屋川市
河北西町12-1
TEL / 072-825-2762
FAX / 072-825-2763
創 業 / 昭和42年5月
設 立 / 平成元年5月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 14名



自動パイプベンダー



TIG溶接加工

<https://www.toyosanseiki.com/>

